

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、特異的IgE（MAST33 アレルゲン）に新たな3つのアレルゲンを組み合わせ、特異的IgE（MAST36 アレルゲン）として、受託を開始いたしますので、ご案内いたします。
弊社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど何卒よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

●実施日

2016年4月1日(金)ご依頼分より

●変更項目

案内書掲載頁	項目コード	項目名
83.84	874	特異的IgE（MAST33 アレルゲン）

●変更内容一覧

項目コード	検査項目	検体量	保存(安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
874	特異的IgE (MAST36 アレルゲン)	血清 0.5	冷蔵 (18日)	3~5	1430 ※5	CLEIA	MASTクラス 0 1.39 以下(LC)	判定基準、アレルゲン一覧表は別表をご参照ください。

※項目コードの変更はございません。

群馬臨床検査センター

●特異的 IgE (MAST36 アレルゲン)

従来の特異的 IgE (MAST33 アレルゲン) に新たな 3 つのアレルゲンを組み合わせて、特異的 IgE (MAST36 アレルゲン) の受託を開始いたします。

新たにアレルゲン (アスペルギルス、トマト、モモ) が追加され、特異的 IgE (MAST36 アレルゲン) となります。アスペルギルスは、自然界において最も普通にみられるカビの一種で、気管支喘息との関連が知られています。トマトは、ヒスタミンやそれに類似する物質を多く含んでいることが知られています。モモはバラ科の植物でシラカンバやハンノキの花粉と共通の部分があり、これらの花粉が原因でバラ科の食品アレルギーが誘発されることが注目されています。このように、アレルゲン検査において新たにニーズの高い 3 項目が加わりました。

▼アレルゲン一覧

アスペルギルス、トマト、モモが加わりました

コナヒョウヒダニ、ハウスダスト 1、ネコ皮膚、イヌ皮膚、オオアワガエリ、カモガヤ、ブタクサ混合物 1、ヨモギ、スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス、ラテックス、トマト、モモ**、キウイ**、バナナ**、ゴマ**、ソバ*、小麦*、ピーナッツ*、大豆**、米、マグロ、サケ**、エビ*、カニ*、ミルク*、豚肉**、牛肉**、鶏肉**、オボムコイド*、卵白*

*：食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルゲン

**：表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルゲン

▼検査要項

項目コード	874
検査項目名	特異的 IgE (MAST 36 アレルゲン)
検体量	血清 0.5 mL
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~5 日
検査方法	CLEIA
基準値 (単位)	MAST クラス 0 1.39 以下 (LC)
検査実施料	1430 点 (「DO15」血漿蛋白免疫学的検査の「11」)
検査判断料	144 点 (免疫学的検査判断料)
備考	判定基準、アレルゲン一覧表は別表をご参照ください。

▼判定基準

判定	MAST クラス	ルミカウント (LC)
陰性	0	0~1.39
疑陽性	1	1.40~2.77
陽性	2	2.78~13.4
	3	13.5~58.0
	4	58.1~119
	5	120~159
	6	160~200

●参考文献

中川 武正、他：アレルギーの臨床 26 (3)：238~242、2006。(検査方法参考文献)
岩崎 栄作、他：日本小児アレルギー学会誌 4 (1)：87~95、1990